

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月21日(火)

事務事業		がん検診事業		担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3348	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり	根拠法令 個別計画等	健康増進法（H20年度～）がん対策基本法（H19年度～）					
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト	0	（未使用）							
事業概要		本事業は、検診機会のない市民を対象にがん検診を実施し、がんの早期発見・早期治療に繋げるものである。								
目的 ※何のために		がんの早期発見と早期治療に繋げるため								
対象 ※誰・何を対象に		検診機会のない市民								
手段 ※どのように		集団検診（胃がん（レントゲン）、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）と個別検診（胃がん（内視鏡）・子宮頸がん・乳がん）を実施する。								
成果 ※何を求めるか		受診者が増加する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	4	健康増進費	がん検診事業	118,196,142
本事業の 主な業務		・ 胃がん検診（レントゲン・内視鏡）					・ 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業（子宮頸・乳）			
		・ 肺がん検診					・			
		・ 大腸がん検診					・			
		・ 前立腺がん検診					・			
		・ 子宮頸がん検診					・			
		・ 乳がん検診					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			胃内視鏡検診導入				
事業費	予算（現額）	130,444,000	127,708,000	121,570,000	100,524,000	133,656,000	126,995,000
	決算額	106,567,832	103,707,223	112,289,658	89,126,672	118,196,142	0
	財源内訳	国支出金	605,000	613,000	971,000	1,056,000	3,996,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	10	0	0
		一般財源	105,962,832	103,094,223	111,318,648	88,070,672	114,200,142
人件費	従事職員数（人）	2.00	1.85	1.92	1.55	1.33	0.97
	人件費相当試算※	15,558,000	14,396,700	15,561,600	12,610,800	10,323,347	7,887,408
総事業費試算		122,125,832	118,103,923	127,851,258	101,737,472	128,519,489	134,882,408

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	がん検診実施回数	目標値	回	450	519	519	519	519	519	
		実績値		519	542	557	473	543	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成 2 9 年度の実績から目標値を設定 / 集団検診延回数（6がん）							
	実績値の算出式									
成果指標 1	各種がん検診平均受診率（地域保健・健康増進事業報告）	目標値	%	0	10	10.1	10.2	10.3	10.4	
		実績値		9.9	10.6	10.68	8.92	9.76	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成 2 9 年度の実績から目標値を設定予定 / 5 検診指針年齢受診率の合計 / 5							
	実績値の算出式									
成果指標 2	がん検診要精検者精検平均受診率（地域保健・健康増進事業報告）	目標値	%	0	90	90	90	90	90	
		実績値		80.6	85.8	82.84	84.93	89.46	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		国の目標値と同様 / 5 精検指針年齢受診者数 / 対象者							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	がん検診実施回数は、新型コロナウイルス感染症予防に留意し予定どおり実施することができたため、目標を達成することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	各種がん検診平均受診率、がん検診要精検者精検平均受診率ともに昨年度よりは増加したが、目標値までには至らなかった。
			評価者 第一係長 石川初恵 第二係長 小井土和美

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	がん検診受診率やがん検診精検受診率が向上するよう受診勧奨方法について研究して実施してきたが、目標には至っていないため、さらに勧奨時期等も踏まえ受診勧奨方法について見直す必要がある。
			評価者 第一係長 石川初恵 第二係長 小井土和美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	コロナ禍であってもがん検診を受診するよう啓発する必要がある。
達成状況及び その効果	コロナ禍であってもがん検診は不要不急ではないため、受診勧奨も積極的に行った結果、昨年度より受診率の向上につながった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	がん検診事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3348
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>がん検診については、コロナ禍であっても不要不急にはあたらないため、受診率の向上につながるよう積極的に受診勧奨を行った結果、昨年度より受診率の向上につながった。しかし、受診率は目標には至っていないため、引き続き、受診率向上につながるよう、受診勧奨していく必要がある。</p>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 保健センター所長 穂山光昌					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	がん検診の中でも受診率の低い子宮頸がん・乳がん検診について、検診対象者への受診券を送付する方法で受診勧奨を行い、効果を検証する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

